

# 「主の復活の恵み」

## ローマ4：20-25

堀田修一 23・4・9

### I 主の十字架と復活の恵みのつながり

1. 「主イエスは、私たちの背きの罪のゆえに死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられた」：25前半。主イエスは、私たちを愛して、私達の背きの罪（神への背き、高ぶり、自己中心、自分を神とする高ぶり、偶像礼拝、憎しみ、恨み、ねたみ、陰口、悪口、嘘、偽り、不正、不品行、酩酊、遊興等）のゆえに十字架で死なれた。主は、十字架で、自ら、私たち人間の数え切れない罪、悪を背負い、私たちが受けるべき神の正しいさばきの刑罰を身代わりに受け、完全に私たちの罪の負債を完済し、罪の贖い、償いを「完了された」（ヨハネ19：30）。その恵みの故に、私達は、自分の罪を認め主を救い主、神、主と信じる時、私達の罪は完全に赦され救われる。主を信じた後、犯す罪も神に正直に告白する時、主の十字架の血の贖い、償いの恵みのゆえに赦され、きよめられる（Iヨハネ1：9）。
2. 「私たちが義（神の前に無罪、正しいと認められ、神と和解し神に受け入れられる）と認められるために、よみがえられた」：25後半。主がよみがえられたことは、大切な事実の証拠、しるし、承認。それは、私たち全人類の罪の身代わりとしての主の十字架の苦しみと十字架の血の贖い、償いとしてのいけにえを神はご覧になり完全な償いと認め、神の義（罪は罪として正しくさばく神の聖なる御性質の義を完全に満足させた（「彼（御子）は自分のたましいの激しい（十字架の）苦しみのもとを見て、満足する」イザヤ53：11。御子と御父は同じ御性質）しるし、証拠、御父の承認が主イエスの復活なのです。主の十字架の死と復活を切り離してはいけません。「もしあなたの口でイエスを主（私の罪のために十字架で死に、復活された救い主、神、ご主人）と（信じ）告白し、あなたの心で神はイエスを死者（私の罪の為の十字架の死）の中からよみがえらされたと信じるなら、あなたは救われるからです」ローマ10：9

### II 復活の主が与えて下さる将来の私たちへの確実な復活の希望

「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです」ヨハネ11：25。十字架と復活の主を信じる私たちは、地上で死を迎えても、魂は天国で主とともにいて、主に愛され、主と親しく交わる恵みにあずかる→十字架にかけられた犯罪人の一人が十字架上で主を信じた時、イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイス（天国）にいます」（ルカ23：43）。「私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。…しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためにはもっと必要です」（ピリピ1：23, 24）。父なる神の時に、主イエスは、世の終わりに再臨される。その時に次のみことばが成就する。「号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます（地上に）。キリストにある（主を信じ主と霊的にいのちの結合をしている）死者（先に天国に行っている旧約と新約の神の民）がよみがえり（納骨されている墓からよみがえり＝魂に復活の体、栄光の体が与えられる）、それから、生き残っている私たち（地上での死を経験せずに生きている間に再臨の主と再会するキリスト者。再臨の主とお会いした瞬間に

罪のない栄光の姿、栄光の体に変えられる！ハレルヤ）が、彼ら（先に天国に行っていた魂が、納骨されていた骨と天国の魂が神の奇跡的な力により合体し、栄光のからだによみがえる）と一緒に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも（永遠に）主とともにいることとなります。ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい」Ⅰテサロニケ4：14—18。「（主の再臨の）ラッパが鳴ると、死者（主を信じ亡くなった人々）は朽ちないもの（栄光の体）によみがえり、私たち（生きている間に再臨の主に再会するキリスト者）は変えられる（罪のない栄光の体に変えられる＝栄化）のです」Ⅰコリント15：52。

### Ⅲ 現在の私たちに与えられる復活の主の恵み、力

1. どんなに辛く苦しいときも、復活の主、生ける主は、私たちとともにおられ支えて下さる。  
「見よ。わたしは世の終わりまで、いつも（福音を伝えるときも、どんなに苦しいときも）あなたがたとともにいます」マタイ28：20。私たちは、主イエスの救い、福音を祈りつつ伝えても、相手に主を信じる心を与えることは出来ない。しかし、この二千年間、世界中に主を信じる人が増しているのは、復活の主と御聖霊が人々の心に働いて下さっているからです。※48年の不思議。「主は彼女（リディア）の心を開いて、パウロの語ること（福音）に心を留めるようにされた」（使徒16：14）。復活の主は、今も宣教と成長のために働いておられます。感謝します。私たちも、あの日あのときに、主を信じる事が出来たのは、自分の力ではなく、復活の主と御聖霊の働きのおかげです。私が主を信じたのは神の奇跡！
2. 「今持っているもので満足しなさい（人と比べ、自分にないものに不平を抱くのではなく、神から与えられたものを数え感謝しなさい）。主ご自身が『わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない』」ヘブル13：5。経済的な試練の時も、困難な問題の試練の時も、復活の主は「決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」素晴らしいお方です！
3. 多くの苦難の中で復活の主を支えられたパウロの力強い証し。「苦難にも苦悩にも困難にも、むち打ちにも入獄にも騒乱にも、疲れ果てた時も眠れない時も、大いなる忍耐を働かせて、また、純潔と知識、寛容と親切、聖霊と偽りのない愛、真理のことばと神の力（復活の主の力）により、また左右の手にある義の武器によって、また、ほめられたりそしられたり、悪評を受けたり好評を博したりすることによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えても、真実であり、人に知られないようでも、よく知られており、死にかけているようでも、見よ、生きており、懲らしめられているようでも、殺されておらず、悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり（主の恵みを数え感謝して）、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持っていないようでも、すべてのものを持っています（日ごとに神は、真に必要なもの＝霊的な恵み、物質的な恵みを与えて下さる）。主の祈り「私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください」の祈りに答えられる神。「私の神は、…ご自分の豊かさにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ピリピ4：19。
4. 大きな励まし。私たちには皆、弱さがある。世の価値基準では、弱さは、マイナスに捉えられる。しかし、復活の主は、次のみことばで励まされる。「『わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さ（病、試練、自分の弱さを認めて、しっかりと神に拠り頼む状況）のうち完全に現れるからである』」と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。ですから私は、キリストのゆえに、弱

さ、侮辱、苦悩、迫害、困難を喜んでいます。というのは、私が弱いときこそ、私は強い（自分が弱く困難のときこそ、主に真剣に頼り、復活の主は、私を強めて下さる、励まして下さる）からです」Ⅱコリント12：9，10。

「ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私を強くして下さる（字義通りの訳：私に力を注入し続けてくださる）方（復活の主）によって、私はどんなことでも（ありとあらゆる境遇に対処することが）できるのです」ピリピ4：12，13。復活の主は、今、現在、困難な事の多い人生の中で、私たちの心に主の力を注入し続けて下さいます。残りの人生、日々、復活の主の力と愛を祈り求め、私たちの心に主の力と愛を注入し続けていただいで歩みましょう。

祈り：主の十字架と復活を感謝します！